



ぎゅっと  
ひとしぼり



# “もうひとしぼり”で ごみ減量

ごみの処理には、エネルギーとお金がかかります。家庭でできるごみ減量を一人ひとりが取り組むことで、大きなコスト削減につなげることができます。まずは生ごみを捨てる前に“もうひとしぼり”を意識してみましょう。

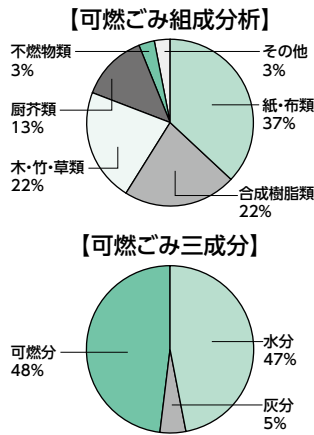
問合せ先 ㈱経済環境グループ ☎52-1111(内線264)

特集

おしらせ

情報ファイル

催し・募集



高浜市における家庭から出るごみの排出量実績(平成29年度)は、1人1日当たり約55gで家庭から出る可燃ごみは年間約9500tにもなりますが、可燃ごみのうち、資源が3割以上、水分が5割近くを占めています。この点に着目してみると、ごみを減らすためにできることが考えられます。

## ごみの大半を占める 水分と資源

なぜごみを減らす必要があるの？

- ◎ごみの焼却には、燃料や電力などさまざまなエネルギーが必要です。
- ◎ごみの処理に、市民一人当たり年間19,660円(平成27年度実績値)の費用がかかっています。
- ◎ごみが増えると焼却炉寿命が短くなり、更新にコストがかかります。
- ◎ごみを燃やすと、地球温暖化の原因となる二酸化炭素が発生します。

## 分別することでごみが 資源に生まれ変わります

資源ごみで出される「紙類」は、段ボール、新聞紙、週刊誌などに生まれ変わります。また「ペットボトル」はカーペット、衣料、洗剤ボトル、卵パック、ごみ袋などのプラスチック製品に変わります。「プラスチック製容器包装」は選別され圧縮されてプラスチック製品や燃料などに変わります。

分別することでごみが生活になくはならない「モノ」に生まれ変わることができます。

## ごみの分別収集情報をもっと身近に

## さんあゝる

スマートフォン・タブレット端末向けアプリ「さんあゝる」で、適切な資源・ごみの分別をかんたんに調べることができます。収集カレンダーやプッシュ通知による出し忘れ防止など、多機能ですので、ぜひ利用してください。



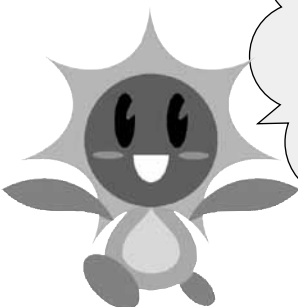
## 生ごみはしっかり 水切りしましょう

一般的に家庭から出るごみの約40%が生ごみで、そのうち70%以上が水分です。水分を多く含んだごみは、重くて臭いや虫にも悩まされます。また、水分の多いごみを焼却炉に入れると、炉内温度が下がるため、ごみを焼却するために多くの燃料が必要になってしまい、その分コストもかかります。

また、水は蒸発しても害にはなりません。水を蒸発させるには費用がかかります。

生ごみを出す前に、「もうひとしぼり」することで、悪臭や腐敗防止に役立ち、ごみの「かさ」が減るので可燃ごみ袋の使用量を減らすことができます。省エネルギーにもつながります。

“もうひとしぼり”を意識して、生ごみはしっかり水切りしましょう。



エコたん